

座り込み斗争貫徹す!!

10・30全学集合

機動隊をなき倒し大勝利!

I. 全学集合250名の結集でかちとられる!

10・30全学集合は、我々吉田寮自治会が、熊野寮自治会とともに、この間、学生部長北川に対し公開の場での話し合いを求めてつくりあげてきた全学運動のひとつの大集約点であった。我々の集めた話し合いを求める全学署名は、この日までの10日間で1500名を越え、寮の主張の正当性が大衆の審判によって証明された。これに対して学生部は「因交はいや」の一点ばかりで、我々の追及に対し本は一切理論的な反論をなしらず、「6人の代表」となどと、いつも逃げ口上で、密室で一方的通告にもちこもうとした。我々は、こうした学生部、当局の卑劣なやり方を断じて許さず、更なる実力決起で、北川学生部長を陽のあたるところへひきずり出す斗いに立ち上ることが、集合基調として確認された。

II. 時計台前24時間座り込み斗争貫徹す!

吉田寮の座り込みは12日間、正門わきのテントを守りぬいて斗われた。26日早朝の機動隊導入、テント強制撤去にもまけず、すぐテントを再建してここを宣伝活動の基地として全学に入っていた。座り込み斗争は寮内的には、存により寮生全員の团结をうちかためるという点で成功を収めた。現段階では学生部長との公開の場での話し合いは獲得できていないが、テント強制撤去における学生部の態度をみるとならば、座り込みといふ一定相手の良識を前提とした戦術では、もはや硬化しきった学生部には通用しないといえよう。この上、全学署名による全学の声を無視するならば、学生部はもはや直接攻撃の対象ではない。座り込み斗争をひきつぐ新たな運動で学生部に突入しよう。

III. 機動隊の壁をぶち破り我等は進撃す!

10・30全学集合に対し、最も戦闘的に強固な寮の隊列に恐怖した国家権力は、この日機動隊をバス7~8台、200人によよぶ大部隊で京大に配備した。そして東一條通りにおいて、かつてない規模の大弾圧を画策してきた。吉田寮生、熊野寮生を中心とする我々のデモ隊は、教養部→本部→教養部と学内デモンストレーションを貫徹したが、この間2回の機動隊との対峙、正面戦において機動隊に圧勝した。おりしも2時半、人通りの多くなった教養部正門前は、我々の戦いを注目し、声援する学生がうまり、機動隊は一歩もキャンパスに足をふみ入れることができなかつた。この戦闘の中でみじめにモジエラルミンの盾とヘルメットを奪られた機動隊は帰るに帰れず、かわりに学生部脳裏が建本次長を先頭に、せめてもの恩がえしにと、学内を犬のように嗅ぎまわり捜してやるといふ、みにくいゆきをみせた。

学生部、当局よ、いつまでも強権にたよらず我々の口を封じておれるなどと甘い夢を抱くな。大衆に支持された大義ある暴力は、どんな弾圧にそ屈せず、最終的に勝利する。

吉田寮自治会は、その日まで斗い抜く。

吉田寮自治会

81/03/